

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公表番号】特表 2011-528636 (P2011-528636A)  
 【公表日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-047  
 【出願番号】特願 2011-518826 (P2011-518826)  
 【国際特許分類】

**B 6 0 Q 3/02 (2006.01)**

**F 2 1 S 2/00 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 Q 3/02 D

B 6 0 Q 3/02 J

F 2 1 S 2/00 2 3 0

F 2 1 S 2/00 4 4 3

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 9 日 (2012.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

支持体内に配置された側方光導体を含む点灯装置であって、前記支持体は前記光導体によって放射された光の通過のための細長い開口部を有し、前記支持体、前記光導体、又は前記支持体及び前記光導体の両方は、少なくとも 1 つの接触縁部を提供するように成形されており、前記支持体と前記光導体との間の物理的係合のみが前記接触縁部に沿う、点灯装置。

【請求項 2】

各接触縁部が 2 つの対応する相対的に傾斜した表面間に形成される、請求項 1 に記載の点灯装置。

【請求項 3】

各接触縁部が前記支持体内で形成され、前記光導体が前記接触縁部によって係合されている少なくとも 1 つの位置決め機構を含む、請求項 1 又は 2 に記載の点灯装置。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの位置決め機構が前記光導体内の切り欠き領域によって形成される、請求項 3 に記載の点灯装置。

【請求項 5】

前記光導体が、前記支持体内の前記細長い開口部の各側上に配置された 2 つの位置決め機構を含み、前記位置決め機構がそれぞれ少なくとも 1 つの対応する接触縁部によって係合される、請求項 3 又は 4 に記載の点灯装置。

【請求項 6】

前記接触縁部が前記支持体内に前記光導体を保持する、請求項 5 に記載の点灯装置。

【請求項 7】

各接触縁部が実質的に前記支持体の全長に沿って延びる、請求項 6 に記載の点灯装置。

【請求項 8】

前記支持体の一部のみに前記支持体の全長に沿って連続的に延びる、請求項 1 ~ 7 のい

ずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記支持体が、概ね U 型のチャネルの形態を有し、前記チャネルの壁部又はその部分のみが前記支持体の全長に沿って連続的に延びる、請求項 8 に記載の点灯装置。